

第66回 宮崎県 精神保健 福祉大会

つながって ささえあって 共にいまを生きる

2026 11月7日 土

日南市南郷
ハートフルセンター
12:00~15:30

入場
無料

アトラクション 12:20

輝きエイサーサークル



開 会 13:00

式典
精神保健福祉功労者表彰
体験発表
特別講演

イベント等 12:00~15:30

展示・販売コーナー



特別講演

転んでも
踏まれても
立ち上がれ!

元オリンピックマラソン日本代表

谷口 浩美 Hiromi Taniguchi

1960年宮崎県南郷町(現日南市)生まれ(66歳)。小林高校では、1977-1978年全国高校駅伝で区間2位の成績で同校の2連覇に貢献。日本体育大学進学後は、箱根駅伝に3年連続で出場。特に3・4年次には、6区の区間記録を2年連続で更新し「山下りのスペシャリスト」と呼ばれ、1983年大会では同校の総合優勝に貢献。旭化成に入社後、1985年別府大分毎日マラソンで初マラソン初優勝。1987年東京国際マラソン、ロンドンマラソンで優勝。1988年北京国際マラソンでは2時間7分40秒の好タイムを記録し、準優勝(自己最高記録)。1991年世界陸上では日本人初の金メダルを獲得。1992年のパルセロナ五輪では転倒したものの8位入賞。レース後の「こけちゃいました」という言葉とさわやかな表情で話題に。引退後は、沖電気と東京電力の駅伝監督等を歴任し、その後、宮崎大学特別教授を経て、現在は講演活動を行うほか、各種マラソン大会にゲストランナーとして参加している。

主催：宮崎県・宮崎県精神保健福祉連絡協議会・宮崎県精神科病院協会

後援：社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会、宮崎県医師会、宮崎県精神科診療所協会、宮崎県歯科医師会、宮崎県薬剤師会、宮崎県看護協会、宮崎県助産師会、宮崎県栄養士会、宮崎県健康づくり協会、宮崎県精神福祉連合会、宮崎県断酒友の会、日本精神科看護協会宮崎県支部、宮崎県精神保健福祉士協会、宮崎県公認心理師・臨床心理士会、宮崎県障害者社会参加推進センター、宮崎県民生委員児童委員協議会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県商工会連合会、宮崎県農業協同組合中央会、宮崎県地域婦人連絡協議会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、宮崎日日新聞社、NHK宮崎放送局、MRT 宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、BTV

お問合せ先 大会実行委員会事務局(宮崎県精神保健福祉センター内) TEL.0985-27-5663